

駅東口周辺地区の 将来像(地区全体)

第5回 桶川駅東口周辺地区まちづくり懇話会

平成25年 1月25日(金)

於:桶川市商工会館 2階 会議室



1

懇話会から感じられる 「東口らしさ」

- 商業の主役は「沿道」
 - ・ 沿道に個店が連たんしているさま
(中山道、一番街、駅通り南側など)
- 居住は地区全体で…
 - ・ 沿道の裏では、「落ち着いたくらし」
 - ・ 沿道商業の中心は1階
(上層階は居住)

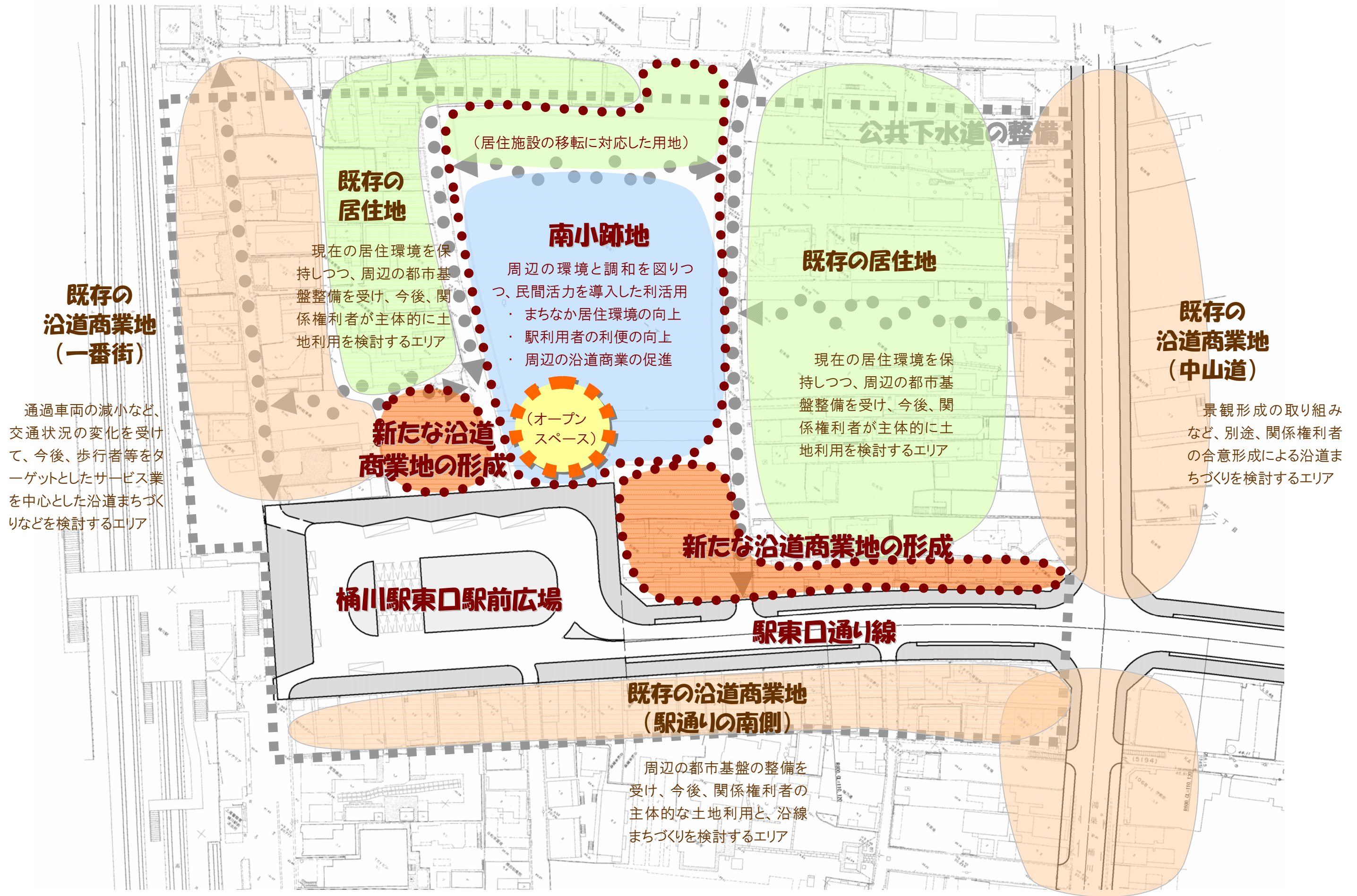
2

懇話会から感じられる 「南小跡地の役目」

- 「東口らしさ」のサポート
 - ・ 居住地としての安心
 - ・ 沿道商業へのアシスト
 - 「東口らしさ」の醸成
 - ・ 駅利用者などの利便の向上
- 人が集い、ふれあい(商環境の向上)

👉 公共公益施設を中心とした土地利用

桶川駅東口周辺地区のまちづくりのイメージ（土地利用）



桶川駅東口周辺地区のまちづくりのイメージ（基盤整備）

＜歩行環境の向上＞

交通量の減少を受けて、歩行者等の通行を重視した道路づくり

公共下水道の整備

（居住施設の移転に対応した用地）

既存の
居住地

南小跡地

＜地区内道路の新設＞

歩いて暮らせるまちづくり、災害時の避難などに配慮し、地区を東西に横断する道路を設置

＜歩行環境の向上＞

歩いて暮らせるまちづくり、災害時の避難などに配慮し、歩道を拡幅設置

既存の居住地

＜地区内道路の新設＞

歩いて暮らせるまちづくり、災害時の避難などに配慮し、地区を東西に横断する道路を設置

既存の
沿道商業地
（一番街）

新たな沿道
商業地の形成

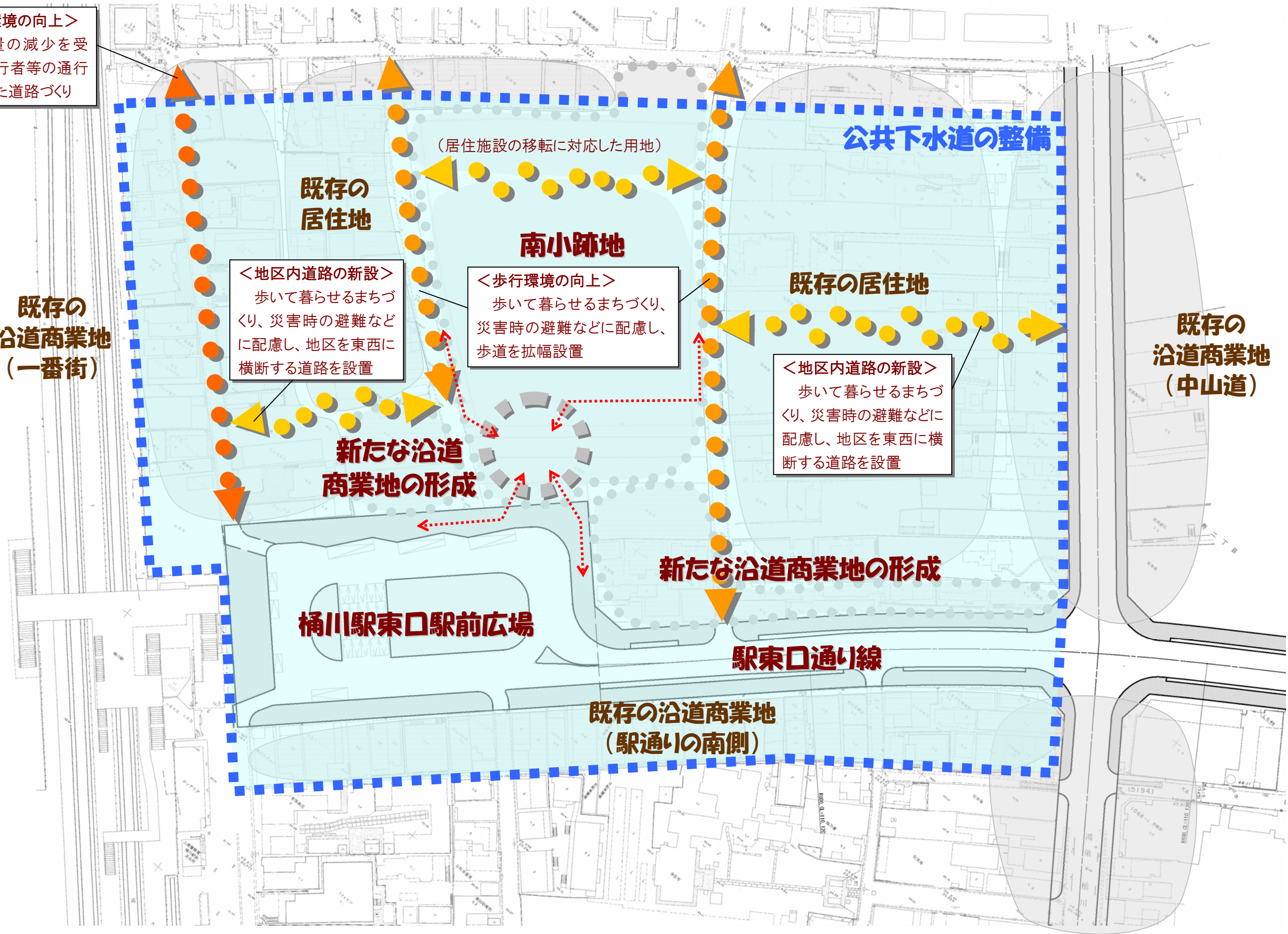
桶川駅東口駅前広場

新たな沿道商業地の形成

駅東口通り線

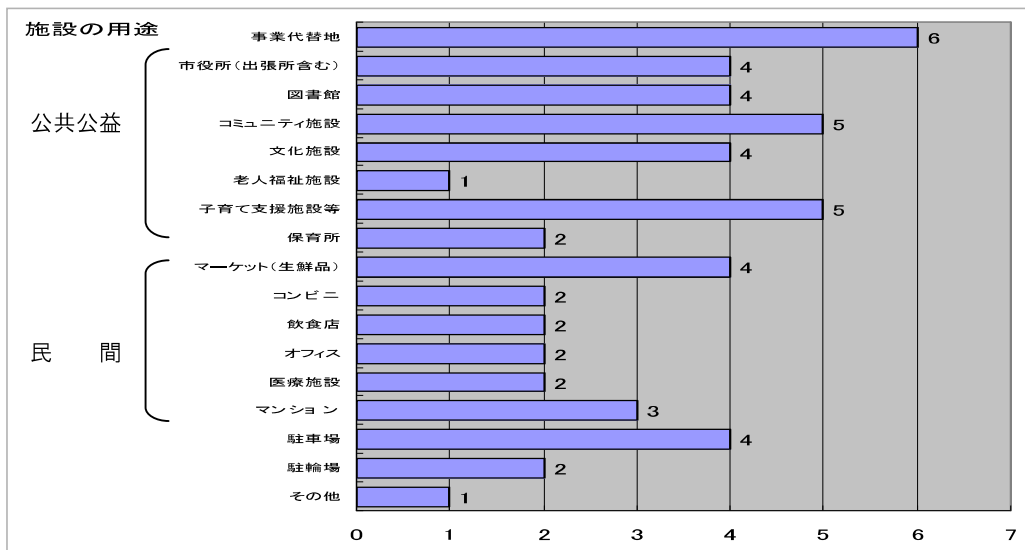
既存の沿道商業地
（駅通りの南側）

既存の
沿道商業地
（中山道）

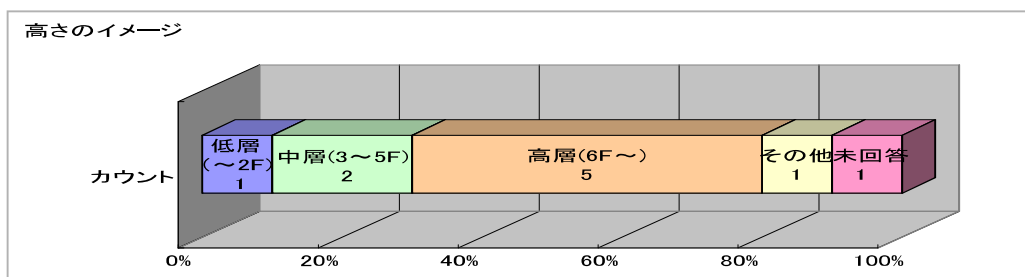


第4回桶川駅東口周辺地区まちづくり懇話会
意見交換用チェックシート集計票

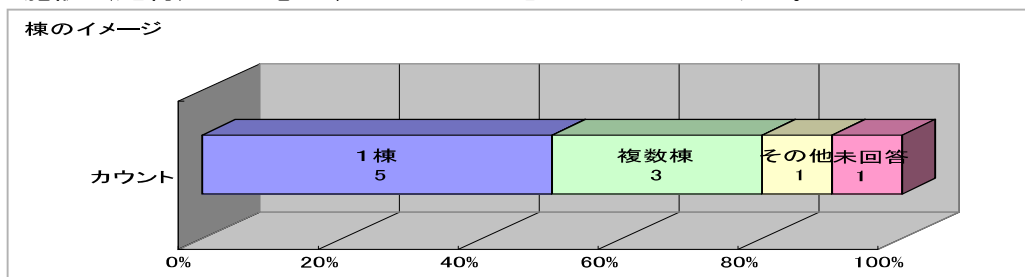
1. 南小跡地にはどのような施設が必要ですか。



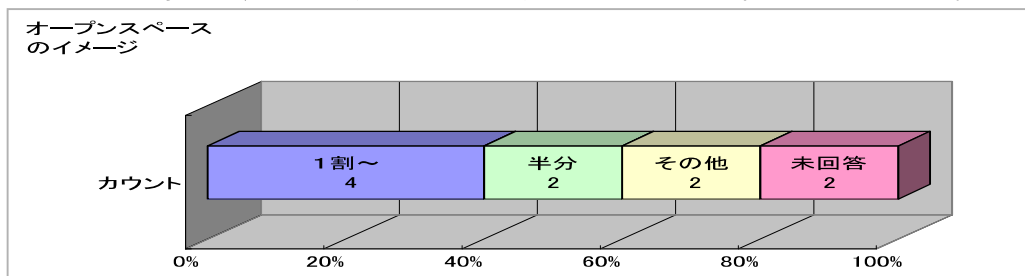
2. 施設(建物)の規模は、どの程度を想定していますか。



3. 施設(建物)の形態は、どのような想定をしていますか。



4. 公園や広場など、空地(オープンスペース)の広さはどの程度必要ですか。



5. その他、ご意見等がございましたら、ご自由にお書きください。

- ・ 南小跡地に想定する商業施設は、駅通りから連続する商店街が形作られるよう計画すべきであり、その商店街の核となれる規模が必要。また、寿地区に対する都市公園、公共施設、これらを成立させる周辺道路の整備が必要。
- ・ 南小跡地を公共施設（総合庁舎）とすれば、市の中心地として住民に不公平感がない。通勤客や市外からの訪問者も来庁がてら駅周辺の利用（食事や買物）がしやすく、町を知ってもらえる。さらに庁舎前に広場があり、イベント等の開催や市民の憩いの場として利用できれば、もっと身近に市政を感じ、親しみを持ってもらえるのではないか。
- ・ 東口整備に集中して、事を運ぶべき。
- ・ 街路事業での住まいの代替としてマンション、また図書館、子育てセンターがぜひ必要。
- ・ 桶川独自の町づくりを。桶川色とは何かを考えて！！
- ・ 公共公益施設を中心に、街路事業の代替施設をコラボする。地域住民の施設ではなく、桶川市民、街づくり全体の活力が必要。
- ・ 市内の人だけで成立しない商店街であれば、市外からも人が集まる場所にしなければならない。国立、県立の科学館やプラネタリウム等、又は民間の体験学習施設などは、定期的に利用している。通学路中の場所なので、なるべく子供たちが安心して通り抜けできる所になってほしい。
- ・ 魅力があり、核となれる良質な商業施設の誘致。
- ・ 広場などは不要だと思う。あれもこれもは厳しいのでは？
- ・ 駅を立体化させ、駅から歩道橋などでアプローチできる。
- ・ 駐車場は市で管理したものを南小跡地に限らず一ヶ所にまとめる。
- ・ 防災拠点、防災地域として整備
- ・ 道路で子供が遊べる環境